

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・買上点数・客単価のアップが続き、好調を維持していく。		
		コンビニ（エリア担当）	・2～4月にかけて、コンビニエンスも含めて新規取引が4～5件見込まれるのと、近くの店が改装開店ということで、良くなる。厳しい市場のなかでも一部のチェーンでは取引額が上昇しているという店もあり、2～3か月先には、現状よりも売上も上がってくる。		
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・低価格と高額商品の二極化は変わらないが、まとめ買いも多く見受けられ、どちらかといえば価格的にも良い商品を求める傾向が続く。		
		百貨店（営業担当）	・12月の極端な冷え込みにより冬物商材が活発に動き、1月に入って例年並みの気候となっているため、1月中旬から婦人衣料品では春物商材に動きが出始めている。マスコミの景気回復報道にも誘引され、消費者の購買意欲向上が期待される。		
		家電量販店（店長）	・オリンピック景気、地上デジタル放送景気で販売量が上向いている。		
		家電量販店（店長）	・いよいよ10月から地上デジタル放送の試験放送が始まるが、まだまだ液晶薄型の買い控えがある。		
		住関連専門店（営業担当）	・この3か月間、微動ではあるが売上がプラスの方向に動いている。11、12月はややマイナス傾向だったが、1月は前年比102%くらいで終了すると思われる。また、近隣のマンションの建設状況・入居状況からみて、2～3月に向けて現状よりは上向きになる。		
		一般レストラン（経営者）	・3か月連続で客単価がアップしており、1人あたりの飲食個数も増加している。その要因として、1月から始めたイチゴのデザートが好評であり、3月まではこの好調さが続く。		
		一般レストラン（店長）	・集客が良い方向に向かっている。客単価も上昇してきている。		
		スナック（経営者）	・全国的な大会が岡山のあちらこちらのホテルで開催されるため、夜安心して飲める店のパンフレットをホテルと協力して配布し宣伝する計画があり、これに期待できる。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊では団体客の予約の申込が好調で、前年より2割ぐらい増加している。		
		都市型ホテル（総務担当）	・特に4月以降、全国大会、一般宴会が昨年実績を既に超えている。また個人客も順調に増加している傾向にあり、景気回復基調を感じる。		
		タクシー運転手	・4月からの介護輸送の件もあり、客の様子からみても明るい1年になりそうである。		
		通信会社（企画担当）	・この数か月、低額商品の販売が高額商品と比較して活発である。この傾向は当社商品ラインナップの特性によるもので、一般的な市場動向と一致するといえるものではない。しかし価格の二極化のなかで、より低額なものは訴求力も強く、販売量増から売上増加が見込める。		
		テーマパーク（業務担当）	・春へ向けての気候の回復、季節イベントの期間延長や春の大規模イベントのPR効果が得られれば、現在よりは回復する。		
		住宅販売会社（従業員）	・来場者の反応に薄日が差しつつあるように感じられる。確たる動きはないものの、客も少しずつ動いてきている。		
		住宅販売会社（販売担当）	・今月は、展示場、イベントへの来場者が、前年比約10%増えており、今後の受注増が見込める。		
		変わらない		商店街（代表者）	・気候が良くなるにつれて来街者数は増加すると思うが、街全体の活性化がない現状では変わらない。
				一般小売店〔印章〕（営業担当）	・駅舎火災により、テナント店としての責任・使命を痛感している。他の被災店とともに、早急に仮店舗を開店したいが、減収はやむを得ない。
				百貨店（営業担当）	・今年は寒かった分、春に対する期待も大きい。前年は春物が厳しかったが、今年は徐々に春物の動きが出始めている。
百貨店（販売促進担当）	・富裕層には回復感は感じられるものの、一般層については、セ－ル購買においても単品購買が強まり、単価はダウンしている。やはり価格に対してはシビアであり、回復基調にはもう少し時間がかかりそうである。				

百貨店（購買担当）	・今月の春物の動きをみてみると、昨年よりはまだまだ動きが鈍い。ただし、雑誌等でトレンドの色・スタイリングというものが、かなり打ち出されているので、こうしたものを客に提案をしている。少しずつではあるが、客もトレンドへの興味が出てきており、2、3か月後の春には順調に推移していく。
百貨店（販売担当）	・2月末までは一部フロアの改装もあり、改装セール等の集客により、前年クリアが見込まれるが、3月のプロパー切替え時の気温上昇がポイントとなる。
スーパー（店長）	・近隣の大型量販店の改装オープンが2、3月と続き、ますます価格競争が激しくなる。客数確保のための競合各社のディスカウントが強まり、売上利益確保が困難な状況になる。
スーパー（店長）	・客の様子から、食費を抑える傾向が強く見受けられる。食品については、ワンランク下げた価格帯の構成比が増加しており、客単価の伸びもない。野菜の相場、パレンタイン等の催事で若干の差は出てくると思われるが、比較的このままの状態が続く。
スーパー（総務担当）	・客単価の下落は、年が変われば流れが変わるかと期待していたが、野菜単価も下がり、販売点数も伸びず供給過剰の単価安は続く。
コンビニ（エリア担当）	・国体終了後、建築関連の需要が減り、ターゲット客数が増えることを見込めない状態が続く。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・必要な時に必要な物しか購入しない流れは変化していないので、しばらくは低迷が続く。
衣料品専門店（販売促進担当）	・最近では価格よりも、品質やデザインを重視する客が増加している。暑い季節になれば、売上は上昇すると思われるが、まだまだ安価でないで購入しない客も多く、二極化が進んでいく。
家電量販店（予算担当）	・地上デジタル放送関連の商品によって、現在はけん引され、今年10月の放送開始へ向けてより一層の期待が持てる。また生活家電商品が買換えサイクルに入ってきていることもあり、この傾向はしばらく続く。
乗用車販売店（販売担当）	・週末の展示会の来場者数が増加しているため、新車の受注台数が前年並みで推移する。
乗用車販売店（営業担当）	・販売量・商談見込み量・来場数とも伸び悩んでいる。
乗用車販売店（サービス担当）	・特に新型車を投入する様子もないし、客の動きもあまり変わらない。新型効果が少しは出るかと期待してはいる。
乗用車販売店（統括）	・2月に新商品が発売されるため、多少活性化する。
自動車備品販売店（経営者）	・現在堅調に推移しているだけに、今以上良くなるとは考えづらいが、高額品やし好み品が好調だけに急変がない限り現状の水準が続く。
高級レストラン（スタッフ）	・1月に入って、一般宴会・婚礼共に動きが出てきたが、これからの予約状況は例年並みで不透明な状況である。
その他飲食[ハンバーガー]（経営者）	・1年間の上昇トレンドが鈍化してきた。新商品、サービスの向上、改装等を積極的に行わなければ昨年度より伸びは低下する。
都市型ホテル（経営者）	・4月の先行予約率は前年並みである。客室部門は、ここ数か月の動きから不安定ではあるが、料飲部門が順調に推移する見込みで、今月同様前年は上回る。
旅行代理店（経営者） タクシー運転手	・1～3月の受注量が低迷している。
タクシー運転手	・まだ夜に飲みに出かける客は少ないようだが、これ以上悪くなるような雰囲気は客からは感じられない。このまま横ばい状態が続く。
タクシー運転手	・タクシー利用者の数はあまり変わっておらず、増車分だけ売上が落ち込み、買い手市場となっており、この状態が短期で変わることはない。月によって上下はあるが、基本的に景気自体は変わらない。
通信会社（通信事業担当）	・客単価の上がる付加サービスなどの申込が低調であり、とりあえずは、ベーシックなサービスを選択される客が多い傾向が続く。
テーマパーク（財務担当）	・1、2月は閑散期であるが、大きなイベントを実施するため、ある程度の結果は見込める。しかし3月はその反動が懸念されるため、良くならない。
設計事務所（経営者）	・建築業界のなかでも、中小企業関係に回ってくる仕事の質と量の関係を見ると、まだまだ先のみえない暗い状況である。発注量も低額で少なく、混とんとしている。

	設計事務所（経営者）	・良くなって欲しい期待感はあるが、建築業界は構造計算書偽造や悪徳リフォーム業者、アスベスト問題と、社会的信用を失いつつある。回復にはもう少し時間が必要である。	
	住宅販売会社（経理担当）	・耐震強度について当社の物件は確認済みで問題ない旨伝えているが、客の購入意欲は低下しており、通常の販売状況に回復するには、まだ2、3か月は必要である。	
やや悪くなる	一般小売店〔靴〕（経営者）	・商店街のなかに、新規の店も出ているし、空き店舗も多少、少なくはなっているが、同様に閉店・廃業・倒産といった事例も多く、この状態に変化はない。	
	スーパー（店長）	・食料品の買上点数を増加させるためにいろいろと取り組みはしているが、来客数の減少傾向が一向に止まる気配がなく、チラシの投入にも限界があり、このまま客数減少が続くと予想され、今後も厳しい状況が続く。	
	コンビニ（エリア担当）	・競合店の大型駐車場を構えての出店が続いており、既存店はかなり影響を受ける。	
	その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック長）	・大手メーカーのカメラ等の生産中止や業務撤退があり、あまりにも先行き不透明すぎる。弊社も決して業績が向上しているわけではなく、苦戦する状態が続く。	
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車・鉄道関連は、引き続き好調な受注が入っている。携帯関連では、春モデルの受注が急激に入っており現状の設備・人員では生産の達成が難しい状況になりつつある。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・3月より新規に生産開始となる北米向けの製品は純増のため、増収が見込まれる。
		輸送業（統括）	・昨年の6月くらいからセールスした案件が今年の4月から2件開始する。その後も順次話が決まり始めている。
		金融業（営業担当）	・基本的には、ガソリン代の問題もあるがこれから先、期末に向けての受注量が確保できているということから、全体的にやや良くなる。
		会計事務所（職員）	・中小零細企業は相変わらず経営環境が厳しいが、一部の地元銀行では、今までかなり厳しかった融資条件を若干緩和してきているところも出始めている。
変わらない	化学工業（総務担当）	・物流費や原燃料費高騰の影響はあるものの、当面現状を維持する。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件及び他の大型案件の受注が決定しており、現在の生産水準は4月頃までは継続する。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の好調が持続する限り、今の状態が続く。	
	建設業（経営企画担当）	・公共工事は減少傾向にあることは変わりなく、一方で設備投資とマンションの引き合い物件はあるものの受注につながる物件は少なく、依然として厳しい状況は続く。	
	輸送業（営業担当）	・価格競争が激しく、全てのものが安価傾向にあり、数量は増加しても収入としては変わらない状況が続く。	
	通信業（社員）	・今後の事業展開においては大変厳しい。今後2～3か月後に景気好転に向かうとは思えない。経営面でも大変厳しいものがあり、一層の効率化と受注に向けた種まきが必要である。	
	通信業（営業企画担当）	・専用線からVPNへという企業通信網の形態移行は鈍化してきたが、今後、インターネットの活用は更に進むと思われる。法人サービスを主体としてきた情報通信業界は収入減傾向のなかで生き残り戦略を探り続ける状態が続く。	
	金融業（業界情報担当）	・国内景気は底堅いが、米国経済の減速や原油価格の上昇懸念が高まっており、先行きはやや慎重にみる動きが出始めている。	
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・新規契約へ向けた活動等も行っているが、軌道に乗らなければわからないということで、先行き不安である。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・自社製品の売上について、国内・海外向けともに下降する見通しであり、また生産資材の高騰については回復の兆しが見受けられず、大変厳しい状況である。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・現在、受注量・生産高ともに横ばいの状況であり、原材料等の購入価格は高止まりのままである。加えて先行きの受注価格の変動にも不安があり、採算的には非常に厳しい状況が続いていく。	
	建設業（営業担当）	・公共工事の年度未発注が少ない。また民間部門においては、製造業担当者によると、投資等は3月いっぱいには現状のまま据え置くとのことであった。	
	悪くなる		

雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・製造業が引き続き好調なことに加え、事務職、販売職などの派遣需要も堅調である。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・取引先企業の求人動向は依然低調な上、在庫圧縮が進んでいないため今のまま変化はない。
		職業安定所（職員）	・管内はほとんどが中小企業で、都会の大企業とは対照的に依然として厳しい状況にあり、今後も好調な業種は一部に留まる。高い燃料費などの経費増を価格転嫁することが困難なため、受注は増えても収益増に結びついていないとする企業の声もある。
		職業安定所（職員）	・電気機械器具製造業において、受注減により30人以上の人員整理を予定している事業所がある。しかし、新規求人は、パート求人より一般（フルタイム）求人が増加傾向にあり、安定した職業を希望する求職者にとっては、選択肢が増え、就職数も前年より増加している。
		職業安定所（職員）	・企業の好不調が、雇用面にも如実に現れる感があり、今後も企業間の格差が大きくなることが懸念される。
		職業安定所（雇用開発担当）	・有効求職者の減少傾向が続くと見込まれるなかで、今後しばらくは、求人数そのものが大きく変動するとは思われない。依然として、求人増の要因は派遣・パート求人の増加であり、正社員求人増加により良くなったというのには程遠い。
民間職業紹介機関（職員）	・企業の人材の採用が「平均以上の能力を必要とする職場は正社員、そうでない職場は非正社員」と両極化がますます進行しているので、厳しさは変わらない。		
やや悪くなる			
悪くなる			